

平成 29 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 JIG-SAW 株式会社
代表者名 代表取締役社長 山川 真考
(コード：3914 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 鈴木 博道
(TEL. 03-6635-6657)

ソフトウェアによる細胞制御をベースとした視覚再生プロジェクト:NEW-VISION に関する特許査定を受領

この度、当社のソフトウェアによる細胞制御をベースとした視覚再生プロジェクト:NEW-VISION に関する特許出願について、日本国特許庁から特許査定を受領いたしました。今後、所定の手続きを経て特許が成立いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

発 明 の 名 称	可視光波長変換部を有する頭部装着型映像提示装置
出 願 番 号	特願 2016-249858
特 許 出 願 人	JIG-SAW 株式会社

本発明は、独自の可視光波長変換ソフトウェアをスマートグラス型の映像提示装置に搭載するものであり、失明した方の視覚を回復することを目指すものであります。最初の対象疾患として、網膜色素変性症（※1）等を対象とし、2018 年中に特定の医療機関で予定されている遺伝子治療薬の臨床試験とあわせて当装置の臨床研究を行う予定です。これは特定の網膜疾患において失明した方々に対して、独自のアルゴリズム変換ソフトウェアによる細胞に対する色信号制御によって視覚再生の実現を目指す画期的な取り組みです。当社の取り組みは、本発明と遺伝子治療薬との組み合わせにより、目の前の光景やヒトの表情の認識、文字の読み書きが確実にできることを具体的に目指しております。

この取り組みに関する詳しい情報については当社 NEW-VISION サイトをご確認ください。

<https://www.newvision-prj.com/>

また今回の日本国内での特許査定を皮切りに、全く新しいカタチの再生医療の取り組みとして、本件特許出願に基づく優先権を利用し、世界各国での特許登録に向けての取り組みも進めていきます。

なお本件は 2018 年中の臨床研究を予定しており、当社の平成 29 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微であります。ソフトウェアによる細胞制御をベースとした再生医療の第一歩として、光を失った方にできるだけ早く光を届ける取り組みとして全力で取り組み、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上

【語句説明】

※1 網膜色素変性症：遺伝子異常に起因する網膜変性疾患で、主な症状としては進行性夜盲や視野狭窄、視力低下などが挙げられ、やがて色覚の喪失や失明に至る病気